



収支バランスのとれた健全予算

一般会計 432億円

総額 829億268万4千円

一般会計予算

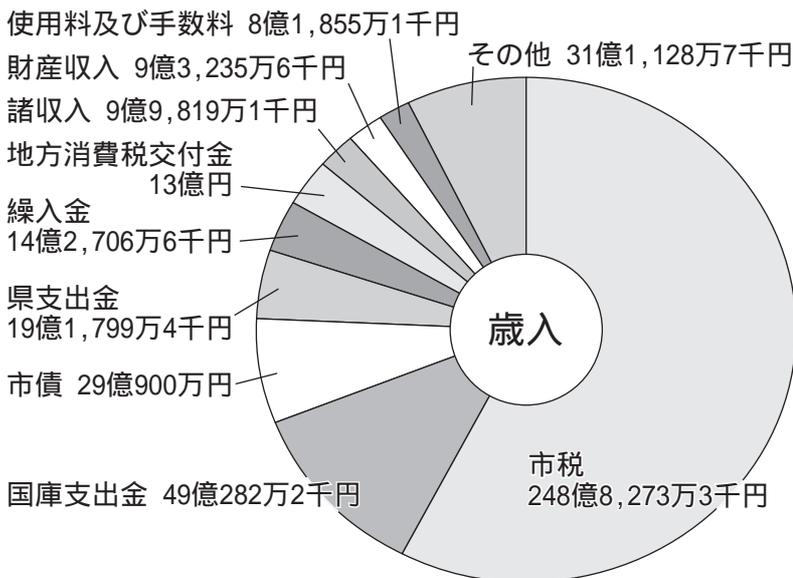
前年度比 0.5%増

平成19年度当初予算が第1回定例市議会で成立しました。限られた財源をより効率的、効果的に配分し、経費の縮減とともに、必要な事業に重点化を図った編成を行いました。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。

市政の中心となる一般会計予算額は432億円で、前年度に比べて2億2千万円の増となりました。また、特別会計と水道事業会計を含めた予算総額は、829億268万4千円、前年度比3.3%の増となりました。

歳入

歳入の内訳 グラフ1



【用語の解説】

- 市税...市民税など市に納めていただく税金
- 国庫支出金...国からの補助金など
- 市債...国などからの借入金
- 県支出金...県からの補助金など
- 繰入金...基金(預金)を取りくずして繰り入れたお金
- 地方消費税交付金...地方消費税の一部を人口割合などで配分し市町村に交付されるお金
- 諸収入...ほかの収入科目に含まれない収入
- 財産収入...市が所有する財産の売払などの収入
- 使用料及び手数料...公共施設の使用料や住民票などの交付手数料
- その他...自動車取得税交付金や地方交付税交付金など

■市民一人が負担する市税

総額15万6,004円

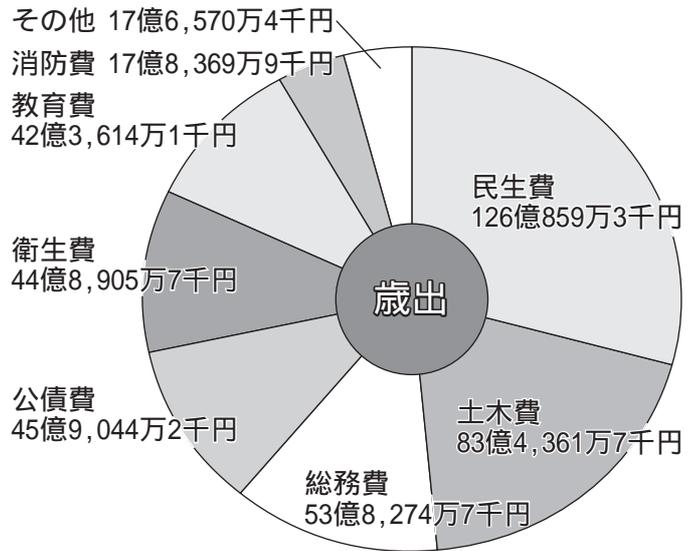
表1

市民税	8万2,764円
固定資産税	5万9,938円
都市計画税	6,450円
市たばこ税	5,956円
軽自動車税	894円
特別土地保有税	2円
総額	15万6,004円

人口...15万9,501人
(平成19年1月1日現在)

一般会計の歳入のうち最も多いのが、個人市民税や法人市民税固定資産税などの市税248億8千273万3千円で、全体の57.6%を占めています。続いて多いのが国庫支出金(11.4%)で、市が行う特定の事業に国から交付されるものです。そして、次に多いのが事業を行うために国などから借入れる市債(6.7%)です。そして県支出金(4.4%)、繰入金(3.3%)、地方消費税交付金(3.0%)などの順になっています。表1は、市税の

歳出の内訳 グラフ2



【用語の解説】

民生費...高齢者、障害者、児童等の福祉など
 土木費...道路や公園の建設や修繕など
 総務費...市の運営費など
 公債費...市の借入金の返済など
 衛生費...ごみ処理やリサイクル、環境対策など
 教育費...学校や図書館などの運営費や修繕など
 消防費...消防や防災など
 その他...議会費や労働費など

平成19年度予算の一覧表

区分	平成19年度予算額 (前年度比)	増減率 (%)	
一般会計	432億円 (2億2,000万円増)	0.5	
特別会計	国民健康保険	145億2,993万8千円 (13億5,948万6千円増)	10.3
	下水道事業	44億7,925万1千円 (3億1,011万6千円減)	6.5
	老人保健	88億2,154万9千円 (4億3,229万8千円増)	5.2
	狭山都市計画事業上広瀬 土地区画整理事業	1億7,187万6千円 (9,013万5千円減)	34.4
	狭山都市計画事業狭山 市駅東口土地区画整理事業	7億3,140万3千円 (1億9,924万円増)	37.4
	介護保険	60億4,090万7千円 (6億3,449万8千円増)	11.7
	計	347億7,492万4千円 (22億2,527万1千円増)	6.8
水道事業会計	49億2,776万円 (1億7,375万3千円増)	3.7	
合計	829億268万4千円 (26億1,902万4千円増)	3.3	

歳出の性質別内訳

表3

人件費	111億5,253万1千円	職員給、共済組合負担金、退職手当負担金、議員報酬など
扶助費	68億1,126万1千円	社会保障制度の一環として、法令などに基づき支出される経費。生活保護費、児童手当など
物件費	68億8,469万2千円	他の性質に属さない消費的な経費。委託料、備品購入費、臨時職員賃金など
投資的経費	64億6,377万3千円	道路や施設の建設のための経費など
繰出金	45億9,389万円	特別会計へ支出する経費
公債費	45億9,039万8千円	借入金の元金や利子の支払に要する経費
その他	27億345万5千円	各種補助金、貸付金、維持補修費など

市民一人当たりの歳出

総額27万845円

表2

民生費	7万9,050円
土木費	5万2,311円
総務費	3万3,748円
公債費	2万8,780円
衛生費	2万8,144円
教育費	2万6,559円
消防費	1万1,183円
その他	1万1,070円
総額	27万845円

歳出

歳入を市民の皆さん一人当たり
 に換算したもので、市民税が全体の
 53・1%を占めています。

一般会計の歳出では、高齢者や
 障害者、児童などの福祉に使われ
 る民生費126億859万3千円
 が最も多く、全体の29・2%を占め
 ています。

次に、道路や公園の整備・改修な
 ど都市基盤の整備に充てられる土
 木費83億4千361万7千円(19・
 3%)、庁舎や財産の管理など、市
 の運営などに使われる総務費53億
 8千274万7千円(12・5%)と
 続きます。そして、公債費10・6
 %、衛生費10・4%、教育費9・
 8%などの順になっています。

表2は目的別歳出を市民の皆
 さん一人当たりで換算したもので
 す。また、表3は歳出を性質別に表
 したもので、職員の給与などの人
 件費が全体の25・8%で、続いて社
 会保障制度の一環として、法令な
 どに基づいて支出される経費で、
 生活保護費、児童手当などの扶助
 費、委託料や備品購入費などの物
 件費と続きます。

問合せ財政課へ

内線7113